

**平成 29 年度
水産の動向**

**平成 30 年度
水産施策**

第196回国会（常会）提出



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

この文書は、水産基本法（平成13年法律第89号）第10条第1項の規定に基づく平成29年度の水産の動向及び講じた施策並びに同条第2項の規定に基づく平成30年度において講じようとする水産施策について報告を行うものである。

平成 29 年度
水産の動向

第196回国会（常会）提出



第1部 平成29年度 水産の動向

目次

第I章 特集 水産業に関する技術の発展とその利用

～科学と現場をつなぐ～

第1節 水産業に関する技術の発展の歴史	4
【コラム】「魚群探知機」と「全球測位衛星システム（GNSS）」	7
第2節 海洋環境や資源状況の情報とその活用状況	9
(1) 海洋環境の把握	9
(人工衛星による海水温等の把握とその利用)	9
【コラム】人工衛星による海洋観測について	12
(2) 資源状況の把握	13
(計量魚探の活用)	13
(3) 海洋環境の変化と水産資源との関連	13
(海洋環境と資源変動)	13
(気候変動による影響と適応)	14
(4) 情報の収集・活用の重要性	16
第3節 ICTの活用	17
(1) 養殖業におけるICTの活用	17
【事例】宮城県東松島市松島湾における海洋観測ブイを活用したカキ・ノリ養殖	18
【事例】有明海におけるノリ養殖の取組	18
【事例】宇和海における養殖業の取組	18
【事例】宮城県女川町における環境ICTを活用したギンザケ養殖	19
【事例】鹿児島県東町漁業協同組合におけるブリ養殖の生産管理システム導入の取組	20
【事例】長崎県松浦市鷹島におけるクロマグロ養殖の取組	20
【コラム】養殖魚の正確な尾数カウントの重要性	21
(2) 沿岸漁業におけるICTの活用	21
【事例】北海道留萌市におけるナマコの資源管理	21
【事例】宮城県日向灘における浮魚礁で得られた沿岸海況情報の提供	22
【事例】宮城県東松島市における効率的な定置網漁業の取組	23
【事例】山口県日本海域におけるマアジやケンサキイカの漁場予測システム	23
【事例】九州北部水域での漁場予測システム	24
(3) 沖合域におけるICTの活用	24
【事例】遠洋かつお・まぐろ漁業でのICTを活用したビックデータ化の取組	25
【事例】北西太平洋のアカイカ漁場予測システム	25
(4) 多様な漁業分野におけるICTの活用	26

【事例】 青森県陸奥湾における密漁監視システム	26
【事例】 ドローンを活用したカワウ被害対策	27
【事例】 福井県竹田川漁業協同組合の遊漁券オンラインシステム 「フィッシュパス」	28
【事例】 ICTを活用した効率的な漁場整備	28
(5) ICTを活用した流通・加工	29
【事例】 宮城県漁業協同組合が運営する「おらほのカキ市場」(電子卸売市場)	29
【事例】 生産工程の「見える化」の取組(エビフリッター)	31
【事例】 ロボットによるホタテのウロ除去	31
第4節 科学と現場が一体となる水産業の持続的な発展に向けて	32
(1) 「獲る道具」の技術から「海を把握する」技術へ	32
(2) 漁業という特殊性に適応したICTの活用	32
(3) 省力化による生産性の向上や労働環境の改善	33
(4) データをフル活用したスマート水産業の構築に向けて	34
【コラム】 ICTを活用した水産業の将来の姿(食卓に届けられるまで)	35

第Ⅱ章 平成28年度以降の我が国水産の動向

序 節 新たな水産基本計画	38
(水産基本計画に基づく水産政策の推進)	38
(水産業をめぐる情勢)	38
(水産基本計画の概要)	38
第1節 水産資源及び漁場環境をめぐる動き	42
(1) 我が国周辺の水産資源	42
(資源評価の実施)	42
【コラム】 漁獲物データ等の利用と調査船調査について	42
(我が国周辺水域の水産資源の状況)	43
(2) 我が国の資源管理	45
(我が国の漁業の特徴)	45
(我が国の資源管理制度)	45
【コラム】 太平洋クロマグロの小型魚(30kg未満)の数量管理について	49
(資源管理計画に基づく共同管理の取組)	51
【事例】 エッチュウバイの資源管理及び経営改善の取組 (島根県隠岐の島町 漁業協同組合JFしまね 西郷ばいかご会)	52
(ニホンウナギの資源管理)	53
(3) 実効ある資源管理のための取組	53
(我が国の沿岸等における密漁防止・漁業取締り)	53
(外国漁船の監視・取締り)	54
(4) 資源を積極的に増やすための取組	55
(種苗放流の取組)	55
【事例】 第37回全国豊かな海づくり大会	56
(沖合域における生産力の向上)	56



(内水面における資源の増殖と漁業管理)	57
(5) 漁場環境をめぐる動き	58
(藻場・干潟の保全と再生)	58
【事例】「御食国・小浜の海のゆりかごを未来へ」	
(小浜市海のゆりかごを育む会)	58
(内湾域等における漁場環境の改善)	59
(河川・湖沼における生息環境の再生)	59
【コラム】農業関係者と連携したウナギ保護の取組	60
(海洋におけるプラスチックごみの問題)	61
【コラム】海洋ごみ回収運動	62
(6) 野生生物による漁業被害と対策	63
(海洋における野生生物による漁業被害)	63
(内水面における生態系や漁業への被害)	63
【コラム】外来魚もリバウンドするの？ ～外来魚対策～	64
第2節 我が国の水産業をめぐる動き	66
(1) 漁業・養殖業の国内生産の動向	66
(国内生産量の動向)	66
(国内産出額の動向)	67
(2) 漁業経営の動向	67
(水産物の産地価格の推移)	67
(漁船漁業の経営状況)	69
(養殖業の経営状況)	73
(所得の向上を目指す「浜の活力再生プラン」)	75
【事例】地域ごとの事情に即した「浜の活力再生プラン」	77
(高知県清水部会)	77
(大阪府泉州地区)	78
(3) 漁業就業者をめぐる動向	79
(漁業就業者の動向)	79
(新規漁業就業者の確保に向けた取組)	80
【事例】若い力で浜に活力を！「ニューフィッシャー (NF)」の育成の取組	
(山口県漁業協同組合豊浦総括支店)	81
【コラム】地域の水産業を学ぶ「産業教育」(北海道稚内市立 宗谷中学校)	81
(遠洋漁業における外国人労働力)	82
(漁業における海技士の確保・育成)	82
(女性の地位向上と活躍)	82
【事例】漁村の女性たちによる活動	
(静岡県沼津市 内浦漁業協同組合チームIKS)	
(熊本県天草市 益田沙央里さん)	84
(4) 安全な漁業労働環境の確保	85
(漁船の事故及び海中転落の状況)	85
(漁業労働環境の改善に向けた取組)	86

【コラム】平成29（2017）年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰	88
（5）漁業協同組合の動向	88
（漁業協同組合の役割）	88
（漁業協同組合の経営と組織再編の状況）	88
（6）水産物の流通・加工の動向	89
（水産物流通の動向）	89
（水産物卸売市場の役割と課題）	90
【コラム】鮮度の良さを追求する取組	91
（水産加工業の動向）	92
（水産加工業の役割と課題）	93
【事例】水産系残さのリサイクルについて	94
（HACCPへの対応）	95
第3節 水産業をめぐる国際情勢	97
（1）世界の漁業・養殖業生産	97
（漁業・養殖業生産量の推移）	97
（世界の水産資源の状況）	99
（世界の漁業生産構造）	99
（2）世界の水産物消費	100
（3）世界の水産物貿易	101
（拡大する世界の水産物貿易）	101
（水産物の国際価格の動向）	103
（4）水産物貿易をめぐる国際情勢	103
（WTOに関する動き）	103
（TPPに関する動き）	104
（5）多国間の漁業関係	104
（地域漁業管理機関）	104
（カツオ・マグロ類の地域漁業管理機関の動向）	104
（NPFC等の地域漁業管理機関の動向）	108
【コラム】日本に馴染みのあるサンマやマサバが地域漁業管理機関で議論される理由	109
（IUU漁業の撲滅に向けた動き）	109
（6）二国間等の漁業関係	110
（ロシアとの関係）	110
（韓国との関係）	110
（中国との関係）	111
（台湾との関係）	111
（太平洋島しょ国等との関係）	111
（7）捕鯨をめぐる国際情勢	112
（IWCの状況）	112
【コラム】IWCを「資源管理機関」に戻すために	112



(鯨類科学調査をめぐる動き)	113
(「商業捕鯨の実施等のための鯨類科学調査の実施に関する法律」の成立)	114
(反捕鯨団体による鯨類科学調査への妨害活動)	114
【コラム】鯨とともに生きる～地域の取組～	115
(8) 海外漁業協力	116
(9) 外国人技能実習制度	116
第4節 我が国の水産物の需給・消費をめぐる動き	117
(1) 水産物需給の動向	117
(我が国の魚介類の需給構造)	117
(食用魚介類自給率の動向)	117
(2) 水産物消費の状況	118
(水産物消費の動向)	118
【事例】アニサキスに冷静な対応を！～正しい知識を身に付けよう～	121
【コラム】日本各地で広がるサケ・マス類の養殖	124
(水産物に対する消費者の意識)	125
【コラム】魚食生活が運ぶ幸せな家庭生活	126
(水産物の健康効果)	127
【コラム】魚を食べると「抑うつ状態」になりにくい？(エコチル調査)	130
【コラム】食機能に配慮した新しい介護食品「スマイルケア食」	130
(魚食普及に向けた取組)	131
【事例】1人当たりの魚介類の消費量が日本一少ない沖縄県の生徒たちが取り 組む魚食普及活動「石垣島モデル」	132
【コラム】第5回Fish-1グランプリ	134
【コラム】水産・鮮魚部門の人手不足を解決するために	135
(3) 消費者への情報提供や知的財産保護のための取組	136
(水産物に関する食品表示)	136
(原料原産地表示に関する動き)	136
(機能性表示食品制度の動き)	137
【事例】「よかるとと 薩摩カンパチどん」(マルハニチロ株式会社)	137
(水産エコラベルの動き)	137
【コラム】養殖種苗の認証制度	138
(地理的表示保護制度)	139
(4) 水産物貿易の動向	141
(水産物輸入の動向)	141
(水産物輸出の動向)	142
(水産物輸出の拡大に向けた取組)	143
【事例】「マーケットイン」の発想で挑む水産物輸出 (三重県尾鷲市 尾鷲物産株式会社)	144
第5節 安全で活力ある漁村づくり	146
(1) 漁村の現状と役割	146
(漁村の現状)	146

(漁業・漁村が有する多面的機能)	147
【事例】 漁村と漁業者による国境監視機能	148
(2) 安心して暮らせる安全な漁村づくり	149
(漁港・漁村における防災対策の強化と減災対策の推進)	149
(漁村における生活基盤の整備)	149
(インフラの長寿命化)	149
(3) 漁村の活性化	149
【事例】 兵庫県家島諸島における「渚泊」の取組	
(家島諸島都市漁村交流推進協議会)	150
【事例】 小さな漁村に年間約3万人のダイバーが訪れる	
(静岡県伊東市 いとう漁業協同組合 富戸支所ダイビングサービス)	151
第6節 東日本大震災からの復興	152
(1) 水産業における復旧・復興の状況	152
(2) 東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の影響への対応	155
(水産物の放射性物質モニタリング)	155
(市場流通する水産物の安全性の確保)	156
(福島県沖での試験操業・販売の状況)	157
【事例】 いわき市にある魚市場の入札による出荷、コウナゴ漁や	
アオノリ（ヒトエグサ）養殖の試験操業の実施	158
(風評被害の払拭)	158
(諸外国の輸入規制への対応)	159

水産業・漁村地域の活性化を目指して	
—平成29（2017）年度農林水産祭受賞者事例紹介—	162

参考図表	165
-------------	-----

「平成30年度 水産施策」の構成

注 本資料に掲載した地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではありません。



第2部 平成29年度 水産施策

平成29年度に講じた施策

目次

概説

1	施策の重点	189
2	財政措置	189
3	法制上の措置	189
4	税制上の措置	190
5	金融上の措置	190
6	政策評価	190

I 浜の活力再生プランを軸とした漁業・漁村の活性化

1	浜の活力再生プランの着実な実施とそれに伴う人材の育成及び水産資源のフル活用	190
2	国内の資源管理の高度化と国際的な資源管理の推進	192
3	漁業取締体制の強化	197
4	持続可能な漁業・養殖業の確立	198
5	加工・流通・消費・輸出に関する施策の展開	202
6	漁港・漁場・漁村の総合的整備	204
7	多面的機能の発揮の促進	205

II 漁業・漁村の活性化を支える取組

1	水産業における調査・研究・技術開発の戦略的推進	205
2	漁船漁業の安全対策の強化	206
3	渚泊 <small>なげさほく</small> の推進による漁村への来訪者増加	208
4	漁協系統組織の役割発揮・再編整備等	208
5	融資・信用保証、漁業保険制度等の経営支援の的確な実施	208

III 東日本大震災からの復興

1	着実な復旧・復興	208
2	原発事故の影響の克服	210

IV その他重要施策

1	水産物貿易交渉への取組	211
2	政策ニーズに対応した統計の作成と利用の推進	211

V 水産に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1	関係府省庁等連携による施策の効率的な推進	211
2	施策の進捗管理と評価	212
3	消費者・国民のニーズを踏まえた公益的な観点からの施策の展開	212
4	事業者や産地の主体性と創意工夫の発揮の促進	212
5	財政措置の効率的かつ重点的な運用	212